

「みんなのエコアクション!山科」

「みんなのエコアクション!山科」として、地域や家庭での環境にやさしい生活の工夫や取組を募集しました。専門家を交えた審査会において選考した結果、「団体・地域・企業の部」、「個人の部」からそれぞれ最優秀賞、優秀賞各1点を決定しました。

皆様もこれらの取組を参考にして、地球にやさしい生活を実践してみませんか。

団体・地域・企業の部

最優秀賞

「児童館におけるエコ活動」

社会福祉法人 大宅児童館 児童館を利用する児童と保護者を対象とした様々なエコ活動に取り組んでいます。

具体的な取組として、①エコお

もちゃの作成、②「エコ工作」作品展の開催、③エコキャップの回収、④ゴーヤのグリーンカーテンの設置、⑤資源回収拠点の設置、⑥保護者向けエコ通信の発行など。

優秀賞

「地域内での循環型社会の形成」

山階南リサイクル推進委員会

生きた環境教育として小学校内に落ち葉等の堆肥化ボックスを設置し、落ち葉が土に返り、肥料として活用される一連の循環を児童とともに学習しています。また、使用済てんぷら油や蛍光灯の回収など様々な活動を地域主体で行っています。

個人の部

最優秀賞

「節電等の取組」

大島 次郎

節電のために、①夏の冷房はエアコンと扇風機を併用、②部屋の照明をLEDに交換、③保温・保冷のためにカーテンを交換、④自動点灯・消灯の玄関灯に交換。省エ

ネのために、初期投資をし、電気使用量を減らす取組です。また、ゴミ減量のため、生ゴミを庭に埋め、肥料としています。

優秀賞

「始末に始末、もったいないの精神は今も!!」

島田 真郎

省エネのため、①冷暖房はできるだけ使用しない、②早寝して、消灯、冷暖房を節約、③お風呂はできるだけ家族で一緒に入ってガス使用量を削減など「もったいない」精神で、環境にやさしいライフスタイルに取り組んでいます。

●問合せ先/市民ぐるみ運動山科区推進本部事務局 区まちづくり推進担当(☎592-3088)

平成23年度山科区民花の回廊募金

「山科区民花の回廊募金」は、区民の皆様の募金をもとに、区内市立小学校に植樹をしています。西野小学校(1月31日ハナミズキ)、陵ヶ岡小学校(3月6日サクラ)、鏡山小学校(3月9日サルスベリ)で、募金者や学区の皆様のほか、児童代表も参加し、和やかな雰囲気なか感謝状の贈呈や樹木への土かけが行われました。多くの方に見守られながら成長し、今後、学校に彩りを与えてくれるでしょう。

平成24年度は5校での植樹を予定しています。募金は随時受け付けていますので、皆様のご協力を

お待ちしております。

●植樹計画/

平成22年度 安朱小、百々小、小野小(3校植樹済)

平成23年度 勤修小、鏡山小、陵ヶ岡小、音羽川小、西野小(5校植樹済)

平成24年度 音羽小、大宅小、山階南小、大塚小、山階小

●募金の申込方法/区まちづくり推進担当までお越しください。個人一口3,000円から、団体・企業一口3万円から。

※一口以下の場合でも、受け付けさせていただきます。

●問合せ先/区まちづくり推進担当(☎592-3088)



5月1日は、固定資産税第1期分の納期限です。

○納期限を過ぎると、延滞金がかかることがありますので、ご注意ください。

○市税の納付には、便利で確実な口座振替をご利用ください。

■課税内容/土地家屋=区固定資産税課(☎592-3164) 償却資産=市資産税課(☎213-5214)、納付相談/土地家屋=区納税課(☎592-3310) 償却資産=市納税推進課(☎213-5468)、口座振替/市納税推進課(☎213-5466)

区民ボウリング大会 優勝は音羽体育振興会チーム



2月26日、第30回山科区民ボウリング大会が

開催され、多くの区民の皆様に参加のもと、熱戦が繰り広げられました。

大会の結果は次のとおりです。

団体の部

優勝 音羽体育振興会チーム
準優勝 百々体育振興会チーム
第3位 勤修体育振興会チーム

個人の部

男子優勝 小野学区 安田 孝司さん
女子優勝 鏡山学区 富永 圭子さん
●問合せ先/区まちづくり推進担当(☎592-3088)

エコ川柳の最優秀賞、優秀賞が決まりました

水と緑に恵まれた歴史豊かなまちである山科区において、環境保全の大切さを考えていただく契機として、エコ川柳を募集したところ206点の応募をいただきました。厳正な審査の結果、最優秀賞及び優秀賞が決まりましたのでお知らせします。たくさんのご応募ありがとうございました。

●問合せ先/山科エコまちステーション(☎366-0184)

最優秀賞

節電に ゴーヤすだれで 涼をとる (林 美代子)

優秀賞

このエコは 未来へ地球 つなぐ夢 (岩佐 敏子)

スイッチオフ 未来へつなぐ あなたの手 (大畑 蘭子)

おきにいり Myはしもって ちょっとエコ (齊藤 美奈子)

エコすれば 地球もみんなも うれしいな (佐々木 大志)



「柳辻駅周辺おでかけマップ」を作成しました

公共交通をより使いやすいものとするため、地下鉄東西線の柳辻駅を中心として、バスと地下鉄の時刻表と路線図などの情報を載せた「柳辻駅周辺おでかけマップ」を作成しました。このマップは、柳辻駅の利用者が多いと思われる勤修学区及び大宅学区の全世帯に配布するほか、柳辻駅や、京阪バス山科営業所でも配布します。今

後も他の駅で作成していきます。

●問合せ先/区まちづくり推進担当(☎592-3088)



みんなで「第2期山科区基本計画」に取り組もう!

第10回 連載 区民活動きずなリレー

～公共交通の担い手としての京阪バスの取組～

区民と行政が一緒に作った「第2期山科区基本計画」が昨年4月にスタート!このコーナーでは計画に関する区民活動を紹介し、今回は計画の5つの基本施策のうち「交通・都市基盤を強化する」に関連して、山科の公共交通の担い手としての京阪バスの取組を、森山企画課長に伺いました。

平成9年に地下鉄東西線が開業し、山科では市バスが廃止されました。それにより京阪バスの市内

中心部への路線は、それまで幹線であった三条通・外環状線経由が地下鉄と重なることから、国道1号線や新十条通のルートを中心としたものになりました。

また、山科での唯一の路線バス事業者となったことで、区民の需要に細かく応える必要性も高まりました。

その要望に応えるための手段の一つが、既存のバスで



小型車両による「くるり200」

は入れない道を小型車両で運行する「くるり200」です。竹鼻、西野道、山科区役所などを経由する左回りの循環路線で、1日約300人(※平成20年調査より)の利用があり、今年で10年目を迎えます。当初の路線では通らなかった山科駅も区民の皆様の要望に応じて経由するようになり、より便利になっています。

また、平成9年から山科の京阪バスでは敬老・福祉乗車証が使えることも特徴です。

山科は狭い道路が多く、新たな路線を設定することは難しいのが実情です。その中で、稲荷山トンネルの開通により、京都駅と京都橋大学を結ぶ山科急行線の運行が昨年からは始まりました。今年の3月

20日からは時間帯により醍醐寺を結ぶルートへの変更も行われ、区民の皆様や学生さんだけでなく観光客の利用促進も図られています。

森山課長によると「公共交通としてのバスの役割は、これからは重要で、区民の皆様のご要望にどのようにお応えしていくか、路線を継続的に運営するための採算性も考えながら、車両のバリアフリー対応も含めて、より利用しやすいバスを目指します」とのことです。

山科の公共交通を地下鉄とともに担う京阪バス。区民の皆様の利用しやすさを高める今後の取組に期待します。

●問合せ先/区総務・防災担当(☎592-3066)